

## 経済学部 国際経済学科

### 【教育目標】

学則第3条に掲げる教育上の目的を達成するために、国際経済学科は以下の教育目標掲げる。

1. 知識・理解
  - ・人類の文化、社会と自然に関する知識の理解  
国際的な経済社会に関する理解力を養うと同時に、日本及び世界の諸現象に関する経済学的な考え方を修得させる。
2. 汎用的技能
  - ・コミュニケーション・スキル  
自らとは異なる社会的・文化的・言語的背景を持つ人々と対話し、相互理解を促進する能力を養う。
  - ・数量的スキル  
国や地域の経済社会的事象について数量的に理解する能力を養う。
  - ・論理的思考力  
国際的な経済社会の問題について、経済学の思考方法に基づいて意見の異なる者と適切に議論できる能力を養う。
  - ・問題解決力  
経済の国際的動向に関心を持ち、問題発見と課題解決に向けて能動的に活動する能力を養う。
3. 態度・志向性
  - ・チームワーク、リーダーシップ  
異なる立場の人々の背景を理解し、協調性を保つための先導力を養う。
  - ・市民としての社会的責任  
修得した経済学の知識を適切に活用して、社会の発展のために主体的に行動することが出来る。
  - ・生涯学習力  
国際社会の諸現象を科学的に探求できる姿勢を養う。

### 【ディプロマ・ポリシー】

経済学の基礎知識を学んだ上で、情報化・国際化に対応した講義や就職を意識したインターンシップ、キャリア教育関連科目などを通じて、実践的な科目を修得し、以下に示す幅広い知識・能力を習得し、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、学士（経済学）の学位を授与します。

1. 知識・理解
  - ・人類の文化、社会と自然に関する知識の理解  
「世界の中の日本」を意識しながら国際社会において経済学がどのように活用されているかを理解することができる。
2. 汎用的技能
  - ・コミュニケーション・スキル  
幅広い国・地域の人々とのコミュニケーション経験を持ち、初対面の人とも日本語と特定の外国語を用いて自由に対話できる。
  - ・数量的スキル  
日本やアジア・太平洋地域の主な国と地域について、数量的な知識を習得している。
  - ・論理的思考力  
世界の動向や経済政策について、経済理論を踏まえて意見を述べることができ、他の意見との相違点を理解することができる。
  - ・問題解決力  
国際間の社会的相違や関係者の意見の相違を踏まえて、問題を柔軟に解決することができる。必要な情報・データを収集・分析し、その解決に向けて行動することができる。
3. 態度・志向性
  - ・チームワーク、リーダーシップ  
日本を含む諸国の人々を尊重し、チームワークを維持することができる。
  - ・市民としての社会的責任  
日本を含む諸国の事情に対する知識を持ち、異なる社会的背景を持った人々を尊重して協調的

に行動できる。

・生涯学習力

国際社会の諸問題に深い関心を持ち、問題解決のために必要な知識・資源を獲得することが出来る。

### 【カリキュラム・ポリシー】

3年次から国際経済学科に配属された学生は、1、2年次に「経済学入門科目」および「経済学基礎科目」で培った経済学の考え方を、「世界の中の日本」や「アジアの中の日本」といった国際的な枠組みの中で活用するための学びを進めることとなります。

3年次から配置されている「国際経済学科応用科目」は、東アジア、東南アジア、アメリカ、ヨーロッパなどの「諸国の経済と社会」、「貿易」、「国際協力」、「国際開発」、「国際金融」、そして「観光」などのキーワードを手助けとしながら、それぞれの地域の経済事情と各地域の経済と社会を読み解くための概念や理論について専門的に学んでいきます。これらの学習・研究を通じて、具体的な国際経済の現実と具体的な分析手法についての理解を深めます。

また、2年次後期からは「専門演習」を履修し、各指導教員の指導の下で専門的な研究・実習を行います。「専門演習」では、資料読解、意見の形成と発表、討論の能力を訓練し、主体的な研究能力と協調性を学びます。そして研究の最終成果として「卒業論文」を執筆し、「専門演習」担当教員の指導を受け合格することで卒業を目指します。

### 【アドミッション・ポリシー】

経済学部は、変動する経済社会に対応できる人材を教育することを目標として、「経済学科」と「国際経済学科」から構成されており、両学科とも、経済社会のさまざまな変化に迅速に対応するとともに、経済社会の課題を解決しようとする意欲をもった学生を募集しています。このため、経済学部では両学科一括で学生募集を行い、2年間で修得した経済学の基礎的知識と学生自身の興味関心に基づいて、各自が所属する学科を決定します。そこで、経済学部では、経済学部、経済学科、国際経済学科のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに基づいて、下記のような資質を持つ人の入学を募っています。

(求める学生像)

(1) 基礎的・基本的な知識・技能について

- 1.日本語の基本的な読む・書く・聞く・話す能力
- 2.外国語の基本的な読む・書く・聞く・話す能力
- 3.地理歴史公民分野の基礎知識
- 4.科学技術についての基礎知識

(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について

- 1.人との基本的なコミュニケーションができる。
- 2.日本語の基本的な論理的思考力
- 3.異文化理解への関心
- 4.日本や世界の社会・文化・時事問題への興味・関心

(3) 主体的に学習に取り組む態度について

- 1.現代社会の動きや日本経済、ビジネスに関心を持っていて、21世紀の社会がこれからどんな方向に進んでいくのか、きちんと学びたい学生。
- 2.将来の進路についてはっきりした意志を持ち、グローバルな視野を持ちたい学生。
- 3.主体的に物事に取り組み、自らの知識や経験を発展させる意欲がある学生。

上記のような資質と関心を持った学生を求めるために、経済学部では、AO入試、推薦入試、一般入試、大学入学共通テスト利用入試などを設け、上記の資質と関心について学力だけに偏らない多面的な評価を行って学生を募集します。

## (選抜方法)

区分 入試 名称 求める 学生像	総合型 選抜		学校推薦型選抜			一般選抜		その他の選抜		編入学
	A O	クラブ	指定校推薦	特別推薦 (系列校)	公募推薦	一般 ※ <sub>1</sub>	大学入学共 通テスト (利用・ プラス方式)	資格取得者 特別等 ※ <sub>2</sub>	社会人、 留学生 ※ <sub>3</sub>	
(1)-1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
(1)-2			○	○	◎	◎	◎			
(1)-3	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○
(1)-4			○	○	○	○	○			
(2)-1	◎	◎	○	◎	○			○	○	○
(2)-2	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎
(2)-3		○	○	○					◎	
(2)-4	◎		○	○				◎	◎	○
(3)-1	◎	○	◎	◎	○			○	○	◎
(3)-2	◎	◎	◎	◎	○			○		○
(3)-3	◎	◎	◎	◎	○			○	◎	◎

※<sub>1</sub> 他に資格取得者一般入試があります。

※<sub>2</sub> 他に帰国生徒、卒業生子女特別入試があります。

※<sub>3</sub> 他に留学生指定校、日本留学試験利用、日本語能力利用入試があります。

改正 2022年4月26日